

2013 年 3 月 5 日

報道関係各位



株式会社ネクストジェン
代表取締役社長 大西 新二
東京都千代田区麹町 3-3-4
(J A S D A Q : 3 8 4 2)

「通話録音ソリューションによる音声通話記録に対する証拠開示分野において、株式会社 UBIC と共同開発開始」

通信インフラを支えるソフトウェアの開発およびその技術を活かしたクラウド・サービスの提供を行う株式会社ネクストジェン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 大西 新二、以下ネクストジェン）は、2013 年 3 月から株式会社 UBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 UBIC）と協力し、成長が期待される音声通話に対するフォレンジック及び証拠開示分野のソリューション提供のため、共同開発を開始することを発表致します。

UBIC は独自に開発した国際訴訟に対応する電子証拠開示支援システムを活用し、ワンストップで電子証拠開示に係る各種サービスを、アジア各国および米国・欧州にデータセンターを配置し提供しています。

ネクストジェンは、通信事業者向けの通信・システムソリューション、自社ブランドと OEM によるクラウド&スマートフォンソリューション、世界でも有数の SIP/VoIP（※1）セキュリティ・ソリューションの 3 つのソリューションを基軸にしており、当分野において高い技術基盤と実績を持っています。

今回の共同開発の目的は、音声通話に対する証拠保全および証拠開示分野に対して、ネクストジェンの通話録音ソリューションと UBIC の電子証拠開示支援及び電子データ調査ソリューションを融合し、お互いの優位性を活かしながらより効果的なクラウドソリューションをいち早く市場に投入し、企業をサポート（※2）することです。

(※1)

SIP

通話の開始から終了までの決められた手順を定義している「呼制御プロトコル」の中で、
IP 電話の代表的な呼制御プロトコル

VoIP

インターネットなどの TCP/IP ネットワークを使って音声データを送受信する技術

(※2)

「通話録音＋音声認識＋音声のテキスト化」によって、インサイダー取引やカルテル等の不正行為の監査ならびにインシデント発生時の証拠保全と証拠化が可能なため、不正調査の有効なツールとしての活用が期待されます。また、監査ならびに不正調査のみならず、国内訴訟・紛争および国際訴訟・紛争の証拠として有用に活用されることも期待されます。

【株式会社 UBIC について】

代表取締役社長：守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23

URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、国際的カルテル調査や連邦海外腐敗行為防止法（FCPA）に関連する調査、知財訴訟、PL 訴訟などで要求される電子データの証拠保全及び調査・分析を行う e ディスカバリ事業（電子証拠開示支援事業）のほか、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスを提供する、リーガルハイテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007 年 12 月米国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2009 年末には企業内でも国際訴訟における電子証拠開示が可能な電子証拠開示支援システム「Lit i View」（リット・アイ・ビュー）を自社開発し、2011 年 10 月からはクラウドサービスとして「UBIC リーガルクラウドサービス」の提供を開始。

2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。資本金 602,993,750 円（2012 年 12 月 31 日現在）。

【株式会社ネクストジェンについて】

ネクストジェンは創業以来、VoIP（ヴォイスオーバーIP）のエキスパートとして、大手通信事業者のシステムを支えてきました。通信事業者向けの大規模IPセントレックスの構築や、IP電話システムの相互接続等、先駆的なソリューションを提供し続けております。また、昨今はクラウドとスマートフォンを活用した、大手通信事業者と連携したクラウドPBXサービスや、企業向け通話録音管理システムのリリース、世界でもあまり類の少ないSIP/VoIPセキュリティ診断サービスも提供しており、通信事業者向けソリューションだけでなく、一般法人向けソリューションとサービスも充実させております。詳細は <http://www.nextgen.co.jp/> をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ネクストジェン 事業戦略室

Tel：03－3234－6855

E-Mail：pr@nextgen.co.jp